

## ラオスに行ってきました！

看護学部 3年 F・M

私たちは、2022年の8月から9月の約2週間、学生8名、先生2名合計10名でフィールドスタディとしてラオス人民民主共和国（Lao People's Democratic Republic）に行ってきました！メンバーの中には初めての海外という学生もあり、渡航前から緊張と期待で胸がいっぱいでした。主に首都ビエンチャン、お世話になったNPO法人ISAPHが活動しているカムアン県ターケークを訪問しました。国際看護を学修していく中で、実際に現地を訪問し、見て、聞いて、触れることができたことは私たちにとって貴重な財産となりました。

福岡県の助成金を受けていたこともあり、文化学修の一環として、ラオスの染め物・機織りを経験しました！実際に自分で色を選び一本一本糸を紡ぐ大変さと同時に楽しさを感じました。全ての経験が大変貴重だったのですが、特に印象深かったことをご紹介します。

ISAPHの活動地域において行ったビレッジステイでは実際に現地で暮らす人々の生活を体験し、インタビューをすることによって途上国のみならず、価値観や暮らしが異なる人々に対して介入をしていく看護学生としての難しさも感じました。

初の昆虫食実食体験は自分自身の価値観が大きく変わるだけでなく、普及活動をされているISAPHの方々の「親和性を重んじる」という理念に大きな感銘を受けました。親和性という聞きなれない言葉ですが、ISAPHや私たちを含めた外部の人間が介入をしていく中で、その場所に暮らす人々に寄り添い、その尊厳を尊重することが重要であるという考え方です。国際看護のみならず看護学生としてこれからの看護の実践に非常に重要な行動理念に触れることができた機会となりました。

帰国後、私たちは聖マリア学院祭でフィールドスタディについて発表する機会をいただいたり、ISAPHの賛助会員に

なったりと学びや経験を周知したり、自身の生活の中で振り返る機会を大切にしてきました。聖マリア学院のInstagramやTwitter、ISAPHのホームページなど公式SNSでも私たちのフィールドスタディでの活動が紹介されています。ぜひご覧ください！！



染め物・機織り体験中の一コマ



とある日の食卓

<公式Instagram>

NPO法人 ISAPH アイサップ

聖マリア学院大学

npo\_isaph

nursingstmarycollege

